

# 2021年度活動報告書 赤松正行 役職：教授

## 学内での活動

### 1. 研究科長

学内および学外との諸事を調整し、円滑な運営が行えるように検討して実施した。

### 2. 教務委員会（委員長）

現在および今後のカリキュラムを検討し、授業が円滑に進行するように調整した。

### 3. 入学試験委員会

現在の入学試験を調整し、円滑な入学試験が実施できるように検討した。

### 4. 研究委員会

現在の学内研究、特にプロジェクト研究について評価と調整を行った。

### 5. メディア表現基礎3（導入科目）

全教員が参加するメディア表現基礎3では、高度なメディア表現に必要な知識や技能を身に付けるためのメディア表現特論の講義の概要を紹介した。個人の担当講義としては、現実の認識問題や自律分散型の社会や表現の在り方を考察し、その後の展開への端緒を開いた。

### 6. メディア表現特論B（専門科目）

小林昌廣教授、前林明次教授とともに専門科目であるメディア表現特論Bを担当し、全教員による議論では今日のメディア表現と身体および環境をめぐる動向と諸問題を検討した。個別の講義では、リアリティとモビリティをテーマとして個人作品の紹介を通して、テクノロジーによる意識の変遷を考察し、簡単な実習としてモバイルAR作品の企画と実装による実践を行なった。

### 7. 個人研究

個人ゼミを主催し、有志学生とともにメディア・アート関連の議論と制作を行い、参加学生の修士研究や年次制作などの指導をゼミとして行った。

## 学外での活動

WEBサイト、展覧会、アプリなどを通じて、作品の構想から制作、発表、記録などの一連の作業を行った。これらの研究は自転車を基盤として、モバイル・デバイスやウェアラブル・デバイス、そしてAR（拡張現実・変容現実感）やVR（仮想現実感）を応用した表現であり、伝統的な形式を超える新しい可能性を探求した。ただし、2020年初頭より世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症の影響で、調査や制作などに大幅に制約を受け、結果

的に作品発表などは少なくなった。一方で、新設される自転車関連施設のアドバイスや新しい形態の自転車研究など今後の研究活動の礎となる調査や検討を行なった。

発表歴（時系列逆順）

2022.02.23 イベント「クリティカル・サイクリング早朝耐寒ライド」, 大垣

2021.11.26 講演「Connecting Bubbles」, 2021 ACC's International Academic Conference, Gwangju, South Korea

2021.07.23 イベント「新型グループ・ライド 2021 Summer」, 世界各地およびオンライン

2021.04.11 イベント「新型グループ・ライド 2021 Spring」, 世界各地およびオンライン

2021.04.03 - 2022.03.27 WEBサイト「Critical Cycling」, <http://criticalcycling.com>